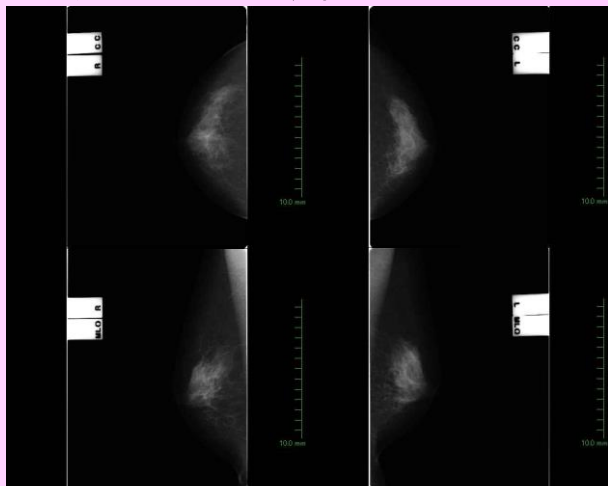


マンモグラフィーとは？

- 乳癌の早期発見のために人の乳房をX線撮影する手法、またそのための乳房X線撮影装置のことをいいます。
- 他のX線撮影装置との違い
4回ものX線照射が必要となり
また決して快適とは言えない状態
(乳房の圧迫)であるため、短時間で
できるだけ被爆を少なくするように
工夫されています。



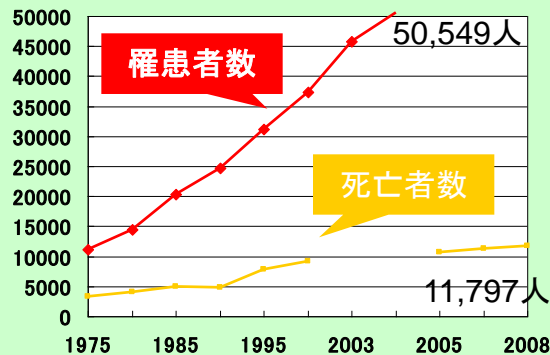
乳癌とは？

- 乳房は、『乳腺』と『脂肪』組織からできています。乳癌とは『乳腺』にできる悪性腫瘍です。脂肪にはできません。
- 乳腺は男性にもあるのでまれに男性でもかかる病気です。
- 乳癌は、発生・進展ともに『エストロゲン』という女性ホルモンが深く関わっているのが特徴です。

日本人の乳癌発生率は、 年々増加傾向にあります。

- 日本人の乳癌罹患率は今や18人に1人と年々増加傾向にあります。

『がんの統計'09～累積がん罹患・死亡リスク』財団法人がん研究振興財団



国立がんセンターがん対策情報センター

関越病院



KANETSU HOSPITAL

社会医療法人社団

新都市医療研究会[関越]会

れんとげん
Roentgen
がいどぶつく
Guide Book

マンモグラフィー

関越病院 中央診療部 放射線科

TEL 049(285)3161(代表)

FAX 049(271)2370

URL <http://www.kan-etsu-hp.ne.jp/hospital/>

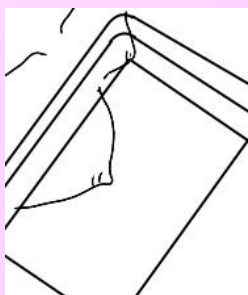
検査の流れ

まず、着替えて頂きます。

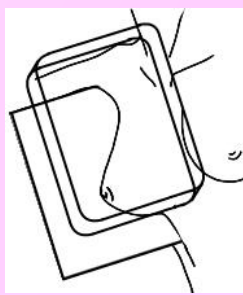
上半身の衣服は全て脱ぎ、検査用のケープを羽織ってください。

ネックレスなども外して下さい。制汗剤等は皮膚に付着したパウダーが写真に写ってしまうので拭き取らせて頂きます。また、髪の毛が撮影の妨げになる場合がありますので、長い方はゴムで結んでください。

検査は、上から(CC)と斜めから(MLO)の二方向で、両方の乳房の各2回計4回の撮影になります。



CC



MLO

15分程度で終わります。写真を確認し、再度撮影する場合は若干長引きますのでご了承ください。

検査室の様子



被爆について

一般撮影の管電圧が100kV前後に対して、マンモグラフィーでは、25～30kVです。被爆量は、通常0.05～0.15mSvあるいはそれ以下と低い線量です。

乳房を薄く圧迫できるほど線量は低くなりますのでご協力お願いします。

セルフチェック

乳癌は、自分で見つけることが出来る可能性が高い癌です。

セルフチェックは毎月、生理が終わって一週間後くらいに、閉経後の人は毎月、日を決めて行いましょう。

鏡に向かって



自然な状態で立ち、両方の乳房に違和感がないか観察します。



両手を上げ、正面・側面・斜めなどからよく観察します。

仰向けに寝て



乳房の内側

腕を上げ、指の腹でまんべんなく調べます。



乳房の外側

腕を自然な位置に下げ指の腹でまんべんなく調べます。わきの下も調べます。



乳頭

軽くつまみ、血のような分泌物がでないか調べます。